

令和3年度の学校評価

|                                   |   |   |   |
|-----------------------------------|---|---|---|
| <p>本年度の<br/>重点目標</p>              | <p>① ICT機器を活用した授業、教材作成や既存の教材の活用を通して「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業の実践を図る。<br/>② 校内におけるさまざまなルールを見直し、状況に応じて適切に対応できるように、自ら考え判断できる子を育てる。<br/>③ 異年齢集団での学習や生活場面を通して、相手を思いやったり、将来の自分の姿を思い描いたりして、共に育ち、高め合う実践を推進する。<br/>④ セルフマネジメント能力を高め、業務の効率化を図り、教職員の多忙化を解消する。</p> |   |   |
| <p>担当（項目）</p>                     | <p>重点目標</p>   | <p>具体的方策</p>  | <p>留意事項</p>   |
| <p>教務部</p>                        | <p>ICT機器を活用した授業実践を進める。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラルに関する内容を適宜取り入れる。</li> <li>・ICT機器や既存のオンライン授業等を活用した授業を取り入れる。</li> <li>・必要に応じて動画等を作成する。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の発達段階に応じた情報モラルに関するルールを職員間で共通理解を図る。</li> <li>・授業での活用方法を振り返り、よりよい活用方法を考えていく。</li> </ul>   |
| <p>いじめ防止等</p>                     | <p>互いに認め合える人間関係をつくり、集団の一員としての自覚と自信を身に付けられるようにする。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・心のアンケートを年2回実施したり、日々の子供たちの様子を把握したりすることで、気になることがあれば、支援や配慮を適時行う。</li> <li>・情報は職員ですぐ共有する。</li> <li>・保護者・学校との連携を密にし、共通理解を図りながら指導する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「愛知県のいじめ防止基本方針」を周知する。</li> <li>・幼児児童生徒一人一人に、自分が大切にされている実感をもてる指導・支援を行う。</li> <li>・信頼関係の構築に努め、子供たちがすぐ相談できる関係・環境をつくる。</li> <li>・気になる事象があれば迅速かつ組織的に対応する。</li> </ul> |
| <p>勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止</p> | <p>セルフマネジメント能力を高め、業務の効率化を図り、教職員の多忙化を解消する。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退校日を設定せず、教職員一人一人が意識して時間外勤務時間の管理を行えるようにする。</li> <li>・スリム化できる業務を教職員全員で考え、実践する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務管理の意識を高められるよう、先進の実践例等を職員会議等で教職員に周知する。</li> <li>・各行事や分掌の業務内容や進め方の見直しを図り、教職員の業務量の軽減を図る。</li> </ul>  |
| <p>学校関係者評価を実施する<br/>主な評価項目</p>    | <p>教務部</p>  |   |   |